

紙器パッケージ試作のフルカラー&短納期化で 商談成功率が格段にアップ



**VersaUV
LEC2-330**

導入事例のご紹介

株式会社 倉岡紙工 代表取締役社長 CEO 倉岡 和徳 様

世界トップクラスの「クリーン×スマート紙器工場」を持つ老舗紙器パッケージ製造会社の倉岡紙工様は、紙器パッケージの試作に時間とコストがかかりすぎるといった問題点の解決と、商談成功率をアップさせるため、紙器パッケージ試作用にUV-LEDインクジェットプリンター「LEC2-330」を導入されました。導入による改善点と活用方法、新しい取り組みについて、倉岡和徳CEOにうかがいました。



導入の決め手

- 1 試作品を低コスト&ハイスピードで作製できる
- 2 紙器パッケージ本紙に直接プリントが可能
- 3 本印刷（オフセット印刷）に近い画質と色合いで出力できる

白無地の試作パッケージでは 完成形をイメージし難い

当社は1965年に初代社長が創業し、紙器パッケージ製造を主力として事業を拡大してきました。2016年の熊本地震で本社工場が半壊したことで、熊本県嘉島町に移転。2020年には世界トップクラスのクリーン紙器工場を本格稼働させました。新工場では医薬品や化粧品などクリーンルームが必要な商品の製造をはじめ、様々な種類の紙器パッケージの設計から製造、配送まで一貫しておこなえる体制を整えています。

紙器パッケージを作るには、まず顧客と打ち合わせをおこないます。その際、データや白無地のパッケージ、複合機で印刷した試

作品を使っていました。しかしそれではお客様が完成形をイメージし難く、商談自体の印象も薄れてしまい、注文が他社に流れてしまったり、最終製作までかなりの時間を要してしまう場合がありました。そのため、試作品を数パターン外注して商談に臨むこともよくあります。

試作品の外注には 時間もコストもかかる

しかし試作品を外注すると、校正や裁断などを含め2週間ほど時間がかかります。さらに試作品を1つ作るだけでも費用が発生するため、試作品代を見てお客様が諦める場合もありました。当社としても、受注に繋がらない場合はロスが大きいため、積極的に試



LEC2-330で作製した紙器パッケージ。白インクを活用したデザインも多い。

作品を外注することができませんでした。

2021年には社内にデザイン部門を設け、白無地のコートボール紙をカッティングプロッターでカットして試作品を作っていましたが、白無地だと印象が薄いため、本物に近い試作品を作りたいと考えるようになりました。そこで候補に挙がったのがUVプリンター導入です。様々なメーカーの中からローランド ディー・ジー・株のLEC2-330を選んだ理由は、紙器パッケージでよく使われる厚み1mmのGフルート段ボールからコートボール紙に対応して直接印刷が可能なおこと、本印刷（オフセット印刷）に近い色合いで出力できることが魅力と感じたからです。また、他メーカーの機種は大きすぎたり小さすぎたりとサイズ感が合いませんでした。当社にはLEC2-330が一番しっくりくるサイズでした。

試作品の外注に比べて コスト約1/20、スピード約1/10

LEC2-330導入後は、その場で実際に使用されるコートボール紙にフルカラーで印刷して試作品が作れるようになったので、お客様に仕上がりがイメージを簡単に伝える事が出来るようになり、極端なケースでは商談中にデザインを修正し、その場で試作品を作って確認していただくことも可能になりました。



COMPANY PROFILE

株式会社 倉岡紙工 様

〒861-3108 熊本県上益城郡嘉島町下仲間80-1
TEL: 096-234-8750 FAX: 096-234-8751
<https://kuraokashiko.co.jp/>

1965年創業の紙器パッケージ製造会社。2016年の熊本地震で本社工場が半壊。2020年に嘉島町に移転。新工場にはクリーンルームが備わり、医薬品や化粧品のパッケージも製造できる日本でも有数の設備を整えている。

無地の試作品で提案するのと、フルカラーで印刷して提案するのでは、お客様の反応が全く違います。事前にフルカラー印刷して試作品を作り、お客様に見せると非常に喜んでいただけます。商談の成約率もほぼ100%になりました。また、試作品の外注に比べてコストが約20分の1、スピードは約10分の1になり、とても役に立っています。LEC2-330は本印刷よりも画質が高いため、あえて高速モードでプリントすることで画質を下げた本印刷の品質に合わせています。これにより、さらに製作のスピードが向上し、インクコストも抑えられる、という結果になりました。

極小ロットの注文も受注可能に、 将来的にはラベルにも挑戦

LEC2-330を導入したことで、極小ロットの紙器パッケージも受注するようになりました。通常、小ロットで500個、大量ロットなら100万個という注文がほとんどですが、LEC2-330なら1枚から受注することができます。現在は食品メーカーのパッケージを作る仕事など、極小ロットの売れ行きが良く、継続的な注文もあります。

最近では商品を販売する前にパッケージの写真をSNSでPRするお客様も増えているた



め、極小ロットの対応はとても喜んでいただけています。

LEC2-330の主な用途は試作品の製作ですが、ほとんど毎日稼働し、それだけで仕事が埋まっている状態です。紙器パッケージと一緒にラベルもプリントしてほしい、という声も多いため、将来的にはLEC2-330のカット機能を活かしたラベルプリントへの取り組みも考えています。

以前は大手印刷会社や広告代理店から下請け的な仕事がほとんどでしたが、近年では様々なメーカー様から直接注文をいただく機会も増えました。そうした仕事の中で、いかにLEC2-330が活用できるかを考えています。今後は化粧品パッケージには必須の光沢ニスや疑似エンボスをグロスインクで表現したり、小ロット紙器パッケージのECサイト展開などにも挑戦したいですね。

導入機種

VersaUV
LEC2-330



LEC2-330 基本スペック

標準価格	: 1,980,000円(税込)
寸法	: W1,945×D781×H1,316mm
重量	: 125kg
設置可能材料	: 幅182～762mm、ロール外径は最大210mm、芯径は76.2mm(3インチ)および50.8mm(2インチ) / 最大25kg 印刷/カッティング幅: 最大W736mm
印刷解像度	: 最大1,440dpi
使用インク	: ECO-UVインク(C,M,Y,K,GL,OR,RE,PR,WH)

印刷時に発生する臭気や揮発性物質を除去する専用脱臭装置は別売り。